

平成28年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

充実した教育環境のもとで、のびのびと明るく元気に過ごし生活体験や活動を通して積極的にものごとに取り組む意欲と態度を身につけ、豊かな心を育み、一人ひとりの人格形成と生きる力の基礎を培う。

- 1 建学の精神「報恩感謝」、教育理念「人をつくる」、教育方針「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」をふまえ、豊かな人格形成の基礎を育む。
- 2 安心・安全な環境のもとで集団生活を送り、基本的な習慣を身につけるとともに、子どもが主体的に活動しようとする積極的な態度を養う。
- 3 遊びや活動を通して、自然や社会に対する関心を広げ、人とのふれあいや協力をとおして、基本的信頼感や心身の調和した発達の基礎を培う。
- 4 子ども一人ひとりをよく見守り、子どもの健全な成長を促すことができるよう、その個性・特性に応じた指導を行う。
- 5 保護者や地域と連携・協力し、より多様な教育環境を創り出すことによって、子どもの生活体験を豊かにし、いきいきとのびやかな成長を促す。

2 中期的目標

【1】心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎を培う。

- (1) 健康で活発な子どもを育てる。
- (2) 自ら考え行動する子どもを育てる。
- (3) 思いやりと優しさのある子どもを育てる。

【2】基本的な習慣やマナー、ルールを守る態度を身につける。

- (1) 基本的な生活習慣とマナーを身につける。
- (2) ルールを守るなど集団生活に必要な態度と行動を身につける。

【3】安心・安全な教育環境を整備し、子どもの活発な活動を促す。

- (1) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保するとともに、危険を回避する力を身につける。
- (2) 子どもが安心して楽しく生活し、興味・関心を広げることができる環境を整備する。
- (3) 子どもが自然や社会に触れて感じたり理解したりすることができる環境を整備する。

【4】教育課程を通して積極的に取り組む態度や友達と助け合い協力する態度を身につける。

- (1) 運動することを楽しみ、技能を高め新たなことに挑戦しようとする態度を養う。
- (2) 読む・書く・数えることに関心をもち、考える力・表現する力を身につける。
- (3) 仲間とともに行事・活動に取り組み、努力することや協力することの大切さを学ぶ。

【5】一人ひとりの子どもの個性・発達・特性に応じた指導を行う。

- (1) 子どもの興味や関心、個性の違いをふまえて一人ひとりに応じた指導を行う。
- (2) 子どもの成長や発達、特性の違いをふまえて一人ひとりに応じた支援を行う。

【6】保護者・地域と連携した教育活動を実施する。

- (1) 保護者の要望をふまえ、保護者と連携して意識を高めていき充実を図りともに子どもを育てる。
- (2) 地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動（子育て相談・園庭開放など）を実施する。
- (3) 幼稚園・保育園・小学校との交流を行い、情報の共有や教育課程・保育課程について理解を深める。

【7】教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実を図る。

- (1) 園内・園外研修参加を促進し、また、充実させ教職員の資質の向上を図る。
- (2) 教職員の協力・連携を強化し教育力の向上と教育内容の充実を図る。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析〔(平成28年度)11月実施予定〕	学校協議会からの意見
<p>評価項目：教育（保育）活動及び幼稚園に対する全体的評価を行った 評価方法：各項目について、5段階で評価を行った</p> <p>【心身の健全な成長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は心身共に目標通り成長できていると思う（ ） ・温もりのある保育を実践しながら思いやりの気持ちを育んでいると思う（ ） ・子どもの成長を通して当園への入園は良かったと思う（ ） <p>【基本的な習慣とマナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は全体的にマナーを身に付けてきていると思う（ ） ・学年の全体的な生活習慣は身に付いてきていると思う（ ） ・挨拶や整理整頓についての指導ができていると思う（ ） ・食事に関して正しい習慣が身に付いてきていると思う（ ） ・きまりを知り守ろうとする気持ちや物事の善悪を理解する心が育っていると思う（ ） <p>【安全・安心な教育環境と子どもの活発な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達への安全確保（セキュリティ）に注意が払われていると思う（ ） ・子ども達が安心して生活できる環境整備になっていると思う（ ） ・園からの緊急連絡が速やかに伝わるよう工夫された体制が整っていると思う（ ） <p>【積極性や協力する態度を養う教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容は充実していると思う（ ） ・子ども達に心の力が目標通り育まれていると思う（ ） ・子ども達に学ぶ力が目標通り育まれていると思う（ ） ・子ども達に体の力が目標通り育まれていると思う（ ） ・園に行くことを楽しみにして喜んで行事にも参加していると思う（ ） <p>【子どもの個性・特性に応じた指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は先生に親しみ信頼関係はよいと思う（ ） ・個々の成長、発達、特性の違いを踏まえた指導支援ができていると思う（ ） ・子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっていると思う（ ） ・課外教室は豊富で選びやすく満足していると思う（ ） <p>【保護者・地域と連携した教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を築く努力をしていると思う（ ） ・保護者から相談を受けることが多いと思う（ ） ・保護者の相談などに対して誠実に対応し連携を図っていると思う（ ） ・預かり保育は利用しやすく安心して預けることができると思う（ ） <p>【教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや目標に向って日々研究し努力していると思う（ ） ・自分の目標は現時点で達成に近づいていると思う（ ） ・子どもにあった環境を見つめ意欲が高まるよう取組んでいると思う（ ） <p>【分析】</p>	

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 心身の健全な成長・豊かな人間形成の基礎	(1) 健康で活発な子ども (2) 自ら考えて行動する子ども (3) 思いやりと優しさのある子ども	(1) 健康で活発な子ども ア、健康な体をつくるために、かけっこ・体操・自由遊びを通してしっかりと運動能力を養うように取り組む。 イ、友だちの姿から刺激を受けて、自分で考えて自分でやろうとする気持ちを培う。 (2) 考えて行動する ア、基本的な習慣を時間の流れに応じて考えて行動する。 イ、場面に応じて次は何をするかを考えて行動する。 (3) 思いやりと優しさを育てる ア、困っている友だちがいれば一緒に考えたり行動したりできる。 イ、みんなで活動する時に場面に応じて自ら手伝いをする。	(1) 健康で活発な子ども (4.0) ア、①かけっこやリレーで体力を向上する。 ②4種目の基本の柔軟体操ができる。 ③色々な遊びやゲーム遊びの中でも十分に体を動かす。 イ、①学年・個々の目標が達成できる。 ②積極的に自ら取組むようになる。 (2) 考えて行動する (4.0) ア、挨拶、衣服の着脱、うがい、手洗いなど時間を見て考えてできる。 イ、次活動について何をするか自分で考えて行動できる。 (3) 思いやりと優しさを育てる (4.0) ア、体操や学習、また生活面で困っている子に教えたり世話をしたりすることができる。 イ、生活や活動を通して、気がついて進んで手伝いができる。	(1) 健康で活発な子ども ア、 イ、 (2) 考えて行動する ア、 イ、 (3) 思いやりと優しさを育てる ア、 イ、
2 基本的な習慣とマナー	(1) 基本的な生活習慣と態度を身につける (2) 集団生活に必要な態度と行動を身につける。	(1) 基本的な生活習慣の確立 ア、挨拶をする。 イ、手洗い・うがい・歯磨きの習慣を身につける。 ウ、上手に箸を使う。また食事の準備と片づけをする。 エ、身のまわりの整理整頓や靴を揃える。 オ、正しい衣服の着脱の仕方を知る。 (2) 集団生活に必要な態度を養う。 ア、自分やまわりの環境の整理整頓ができる。 イ、進んで手伝いをする。 ウ、公共の場での規範意識を高め望ましいマナーを身につける。 エ、感謝の内容を理解し、ありがとうの気持ちを持つ。	(1) 基本的な生活習慣 (4.0) ア、進んできちんと挨拶をする。 イ、手洗い・うがい・歯磨きが習慣的に自らできる。 ウ、正しく箸を持って食事をし、その準備や片づけができる。 エ、所持品の準備や始末をし、靴をきちんと揃える。 オ、自ら正しい衣服の着脱ができる。 (2) 集団生活に必要な態度や行動ができる (4.0) ア、自分の身の回りや環境の整理整頓や始末ができる。 (4.0) イ、気がついて積極的に手伝いをする。 ウ、公共の場や乗り物内では迷惑のない態度や行動ができる。 エ、感謝の気持ちがわかりありがとうやごめんなさいを伝える。	(1) 基本的な生活習慣 ア、 イ、 ウ、 エ、 オ、 (2) 集団生活に必要な態度や行動ができる ア、 イ、 ウ、 エ、
3 安心・安全な教育環境の整備と子どもの主体的な活動	(1) 楽しく生活し、興味・関心を広げる環境を整備する。 (2) 自然や社会に触れることができる環境を整備する。 (3) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保する。	(1) 保育室環境の整備の充実 ア、保育室の図書設備の充実を図る。 イ、季節に応じた制作や絵画を計画する。 ウ、体操や遊びに係る整備、備品、用具の充実を図る。 エ、健康で安全な生活の基本として、食を営む力を育て、望ましい食習慣の定着を図る。 (2) 自然・社会環境の整備の充実 ア、生き物を飼育する。 イ、植物や野菜を栽培する。 ウ、園外保育に出かけ、公共機関の様子などを知り、また、いろいろな人とふれ合う。 (3) 安全・防災教育を実施 ア、交通安全教室・防犯教室を実施する。 イ、防災訓練を実施する。 ウ、JR出張授業を実施する。 エ、事故防止や感染予防に努める。	(1) 保育室環境の整備 (4.0) ア、絵本・紙芝居などを豊富に揃える。 イ、絵画や制作をする中で、季節を感じ表現することを味わい楽しむ。 ウ、安全についての構えを身につけ、自分の体を大切にして積極的に運動や遊びができる。 エ、進んで食べようとする気持ちを育て、食べることに喜びをもち、食の大切さを感じるようにする。 (2) 自然・社会環境の整備 (4.0) ア、生き物などの飼育を通して命を大切にする。 イ、自然物に関心を持ち、また、植物や野菜の生長を楽しみ、また、味わう。 ウ、園外保育に参加し、施設や交通機関などの視野を広げる。 (3) 安全・防災教育 (4.0) ア、交通ルールを守ることの大切さや防犯について知識を高める。 イ、避難の仕方を知り、危険回避能力を身に付け、身の安全を図り速やかに行動できる。 ウ、電車におけるきまりやマナーを知り守る。 エ、自ら、健康と安全に関する技術を身につける。	(1) 保育室環境の整備 ア、 イ、 ウ、 (2) 自然・社会環境の整備 ア、 イ、 ウ、 (3) 安全・防災教育 ア、 イ、 ウ、 エ、

4 自主性や協力的態度、規範意識のめばえ	<p>(1) 身体を動かし、積極的に運動する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する。</p> <p>(3) 行事・活動に取り組み、仲間と協力すること、また集団活動のルールを理解する。</p>	<p>(1) 積極的に運動する。 ア、かけっこを毎日取り入れる。 イ、柔軟体操の4種目の基本ができる。 ウ、体操ではいろんな種目に目標をもって挑戦する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する。 ア、ひらがな、カタカナを覚え書く。 イ、絵本を読み話の内容を理解して、考えや思いが伝えられるようにする。 ウ、数字を覚え書く。また、簡単な計算ができるようにする。 エ、歌やピアニカを通して音階や楽譜を理解する。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守る。 ア、みんなと一緒に喜んで行事に参加し、集団生活のきまりを守ることの大切さを理解する。 イ、異年齢で交流できる場を設け、触れ合いを大切にする。 ウ、学年目標を設定し、成長段階に応じた目標で達成をめざす。</p>	<p>(1) 積極的に運動 ア、 イ、 ウ、</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する ア、 イ、 ウ、</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守ること ア、 イ、 ウ、</p>
5 子どもの個性・特性に応じた指導	<p>(1) 子どもの興味・理解・個性の違いに応じた指導</p> <p>(2) 子どもの成長・発達・特性の違いに応じた支援</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導 ア、子どもの興味・関心、理解・成長の度合いに応じた指導を行う。</p> <p>イ、子どもの心身の状態を把握し理解して、適切な指導を行うことができるよう会議を実施し、また園内・園外の研修会に参加する。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援 ア、保護者と連携を図り、その子の発達や特性に応じた支援を行う。</p> <p>イ、周囲の子ども達にも理解できる範囲で協力を促し、相互のかかわりが良好になるよう配慮し共感し合う。</p> <p>ウ、保護者の理解と協力も得られるよう保護者に対する啓発活動にも取り組んでいく。</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導(4.0) ア、活動の場面ごとにまた、個々の子どもの成長や個性を理解し、見合った指導を丁寧に行う。</p> <p>イ、終礼・園内研修会・外部研修会・ステップアップ会議等の話合いや研修会に参加し、それを踏まえて指導や配慮を行う。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援(4.0) ア、保護者と連絡を密にして連携をもち、その子の発達や特性に応じた支援をする。</p> <p>イ、子ども達の相互のかかわりが良好になるよう配慮し共感し合えるよう配慮する。</p> <p>ウ、保護者に対する啓発活動を行う。</p>
6 保護者・地域と連携した教育活動	<p>(1) 保護者と連携し子どもを育てる</p> <p>(2) 地域と連携して教育活動を行う</p> <p>(3) 幼稚園・保育園・小学校と交流の機会を図る</p>	<p>(1) 保護者との連携 ア、PTA活動を活発にし、夏まつり・運動会・発表会などで保護者と連携し協力などをお願いする。</p> <p>イ、家族皆が参加できる保育参観を実施し、積極的な参加を企画する。</p> <p>(2) 地域との連携 ア、園庭を開放し、夏まつりや運動会などの行事にも地域の人を招待する。</p> <p>イ、府内中学校の職業体験の受け入れに協力する。</p> <p>ウ、エコキャップ運動の推進を図り継続していく。</p> <p>(3) 幼稚園・保育園・小学校と交流</p>	<p>(1) 保護者との連携(4.0) ア、役員会を通してPTA活動を活発にし、協力のお願いなどをする。</p> <p>イ、家族皆が参加できる保育参観について、その主旨の理解を得る。</p> <p>(2) 地域との連携(4.0) ア、園行事の開催など、ポスターの掲示や手紙で知らせ招待する。</p> <p>イ、職業体験の受け入れをする。</p> <p>ウ、エコキャップ運動を行う。</p> <p>(3) 幼稚園・保育園・小学校と交流 ア、合同の研修会や参観の交流を図る。</p>
7 研修の充実・運営体制の充実	<p>(1) 研修を充実させ資質の向上を図る。</p> <p>(2) 教職員の協力・連携を強化し教育力と教育内容の充実を図る。</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、園内研修実施して資質の向上を図る。</p> <p>イ、各自の目標を設定し努力する。</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、目標を共有して連携する。</p> <p>イ、教育内容を充実させる。</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、 イ、</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、 イ、</p>

